

# 会 議 録

第 1 7 回定例会

開会 令和6年1月31日

## 教育委員会会議録

1 開 会 令和6年1月31日 午前10時

2 閉 会 令和6年1月31日 午後零時15分

### 3 教育委員会出席者

教育長	榊 浩一
委員	島 隆寛
委員	三木 千佳子
委員	河野 暁
委員	岡本 弘子
委員	横田 賢二

### 4 教育長及び委員以外の出席者

副 教 育 長	阿部 淳子
教 育 次 長	中野 敏章
教 育 次 長	生田 雅和
コンプライアンス推進室長	原 史麿
教育創生課長	藤坂 仁貴
教職員課長	西浦 利幸
福利厚生課長	中山 貴晶
学校教育課長	酒井 吉彦
人権教育課いじめ問題等対策室長	蔭山 善宏
体育健康安全課長	鳴川 幸恵
教育政策課長	内海 はやと
教育政策課副課長	櫻木 大介

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

《報告事項1 1人1台端末について》

教育長 報告を求める。

教育政策課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

島委員：次の更新については、故障率が低く長持ちする端末の調達ができるよう、他の自治体の情報収集をしてほしい。

教育政策課長：引き続き、教育DX加速化委員会で議論していきたい。

教育長：先日、都道府県教育長会があり、端末整備の状況等を聞いてみたところ、高校段階では、BYOD（私有端末の持ち込み利用）を導入するという都道府県が増えている印象を受けた。そういった方法も含め、今後検討していきたい。

《報告事項2 令和6年能登半島地震に関する徳島県教育委員会の支援状況について》

教育長 報告を求める。

教育政策課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

横田委員：公立学校への受入れ及び住宅の提供について、相談の受付状況を知りたい。

教育政策課長：現時点では、相談はない。

教育長：県教委としても、被災した子供たちに寄り添った支援を、しっかりと継続して行っていく。

《報告事項4 通学区域制に係る令和5年度の動向について》

教育長 報告を求める。  
教育創生課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

三木委員：通学区域制については、慎重にかつ丁寧に議論しなければならない。現在の中学生にとって、とても大事なことである。もし変更があった場合は、様々な混乱が生じると思うので、なるべく早い時期に周知してほしい。  
教育創生課長：その際は、しっかりと期間を確保し、周知していきたい。

《報告事項6 とくしま いじめ問題子どもサミット2023について》

教育長 報告を求める。  
いじめ問題等対策室長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

横田委員：大変良い取組だと思う。一般企業においても、社員同士が、お互いに相手を思いやり、感謝の気持ちを持って仕事するというのは、できているようでなかなかできていない。子供の時から、いじめ問題を中心として、そのことを課題として捉える心を育むことは、将来、社会人になった時に非常に役立つ。参加した114人の子供たちは、大人になった時に活動の意義がわかると思う。各学校でいじめ防止委員会を作り、活動していくことによって、それが醸成されると考える。  
河野委員：参加校は、どのように決定したのか。  
いじめ問題等対策室長：県内全ての公立小中学校及び特別支援学校の小学部、中学部に募集を行い、希望があった学校25校が参加した。  
河野委員：県内全ての小中学校の参加を目指してほしい。  
いじめ問題等対策室長：県内各地に呼びかけて、参加校を増やしていきたい。将来的には、各ブロックごとに実施し、全ての学校に参加してもらうことを考えている。また、来年度以降、県立高校及び特別支援学校の参加も検討している。

岡本委員：いじめ防止は、日常の教育活動の中で必要なことである。不登校やネットいじめが増えてきている中、子供たちが各学級、学校全体で課題を話し合い、自分たちで学校を変えていくという取組を、どの学校もできれば良いと思う。形骸化せずに、引き続き取り組んでほしい。

いじめ問題等対策室長：誰にとっても安全・安心な学校となり、登校しやすい、過ごしやすい学校を目指すために、引き続き、児童生徒が主体となる本活動を進めていきたい。

三木委員：各校でいじめを発見した際の対応に関する取組はあるのか。

いじめ問題等対策室長：活動内容については、各学校の実態に応じて実施している。児童会・生徒会や委員会活動で話し合ったことを、全校集会で発表したり、あいさつ運動や、スローガンを作って啓発するなど、各学校に応じた適切な方法で、児童生徒が主体となり考えて実施している。

三木委員：他校との交流はあるのか。

いじめ問題等対策室長：本サミットで、各校の取組等について意見交換している。

島委員：不登校は、全国的に増加している。根本的な原因の究明は難しいかもしれないが、改善傾向が見られる自治体の事例を取り入れ、不登校児童生徒の居場所づくり等、支援の仕組を構築していくことが大切だと考える。

いじめ問題等対策室長：不登校の原因は1つでなく、様々な要因が重なっていることが考えられる。県教委として、多様な学びの場所を提供し、将来的に社会的自立ができるように支援をしていくため、教育支援センターやフリースクールと連携していく。また、従来は、別室登校等については、主に授業が空いている先生が入れ替わりで対応していたが、担当の支援員等を配置できるよう、検討しているところ。その他、授業のオンライン配信等、いろいろな可能性を検討していきたい。

河野委員：現在、別室登校等に独自で対応している学校がたくさんあると思うので、支援員の配置を進めてほしい。

教育長：決議文の中にあるように、いじめをしない、させない雰囲気をつくるのは大切である。児童生徒がいじめをなくすために、自分たちで考えて行動に移す姿が、そのような雰囲気をつくる。そういう児童生徒が増えてきて、全ての学校に広まり、つながっていけるような取組を今後も推し進めていきたい。

《報告事項5 令和7年度徳島県教員採用候補者選考審査の変更点について》

教育長 説明を求める。  
教職員課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

岡本委員：小学校教諭選考における英語の模擬授業に関して、授業力のどういった点が見えるのか、不安なところである。私自身は現役の頃、デジタル教材や音源など、様々なメディアを使い、子供たちの対話や活動がメインになるような工夫をすることが多かった。そういった内容の授業を、模擬授業でどのように評価できるのかというところが描きにくい。また、このような内容だけ大学や現場で練習していて良いのかという疑問もある。3・4年生から外国語活動、5・6年では教科として外国語があり、週に2時間程度あるが、国語や算数のように毎日ある教科の授業とはやはり違うと思う。どの教科の授業にもねらいがあり、具現化するものがあり、学び合いの中で身につける力があるが、英語の模擬授業によって授業力を評価することができるのかという不安がある。加えて、学生が受審する自治体を選ぶ際に、審査内容を見て、受けやすいと感じる内容のところを受審するため、志願者が減るのではという危惧もある。

教職員課長：どのような模擬授業にするかは、英語の指導主事等とともに研究し、適正な指導案を設定していきたい。英語の模擬授業となると、受審者は発音や発話力などを気にするかもしれないが、ネイティブのような流暢さを求めるものではなく、高校・大学で学んだ英語を基本として準備していただくようになる。授業の構成については、他の教科と同様、主体的な学びとして、児童の学びをいかにして引き出すか、また、児童同士の対話的な学びをどのように展開させるか、という視点で評価するものである。中学校や高等学校の英語のようにオールイングリッシュで授業を進めるものではなく、他の教科であるような、説明する、指示する、児童の活動を引き出すなどの授業構成力・展開力を英語の授業で評価することになる。英語の授業ということで、受審者の中には少し懸念される人もいるかもしれない。審査内容等については、審査要項公表段階でわかりやすくお示しをしたい。

岡本委員：デジタル教科書はとても使いやすく、授業でよく活用されている。デジタル教科書をいかに効果的に使うかというところも大切になってくる。受審者のデジタル教科書の知識や使用経験の有無により、取り組みやすさが大きく異なると考える。

教職員課長：貴重なご意見として、今後検討してまいりたい。

教育長：私自身の若い頃を思い出してみると、英語の授業はあまり楽しくなかったイメージがある。小学校で英語を学ぶということは、子供自身が、伝えたいことが相手に伝わった時の喜びをしっかりと味わえるような、そのような力を引き出せることが必要であると考えている。英語は手段であり、子供たちが英語は楽しいと思えるような授業実践をできる教員が増えていくことを期待したい。スキルの要素は大切かもしれないが、いかに授業に真摯に向き合い、子供たちに楽しい授業を提供できるかどうかという本質的なところを評価する審査になればと考える。

[非公開]

《協議事項3 職員の処分について》

《協議事項4 職員の処分について》

《協議事項5 職員の処分について》

《議案第40号 徳島県学校職員定数条例の一部を改正する条例について》

《議案第41号 徳島県公立学校情報機器整備基金条例の制定について》

《協議事項1 令和6年度当初予算案・令和5年度2月補正予算案について》

《議案第43号 徳島県立高等学校総合寄宿舎の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について》

《議案第44号 令和5年度徳島県藍青賞の受賞者について》

《報告事項3 公益通報の受付・処理状況について（令和5年10月から12月分）》

《議案第42号 公文書公開請求拒否決定処分に係る審査請求に対する裁決を教育長の臨時代理により行ったことの承認について》

《議案第45号 公文書公開請求拒否決定処分に係る審査請求に対する裁決を教育長の臨時代理により行ったことの承認について》

《協議事項 2 徳島県教育振興計画（第4期）に係る議案について》

[閉 会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午後零時15分